



ひるの星

No. 240

もくじ	
バハオラの言葉	2
世の改善をする英雄	3
クイズ	6
巻物の作成	7
色ぬり	9
皆の写真	10
両親のページ	12



よ かいぜん
「世の改善は、

きよ
清らかで

りっぱ こうい
立派な行為と、

しょうさん あたい
称賛 に値する

れいぎ
礼儀にかなった

こうどう とお
行動を通して

たっせい
達成できる。」

バハオラ



世の改善をする英雄

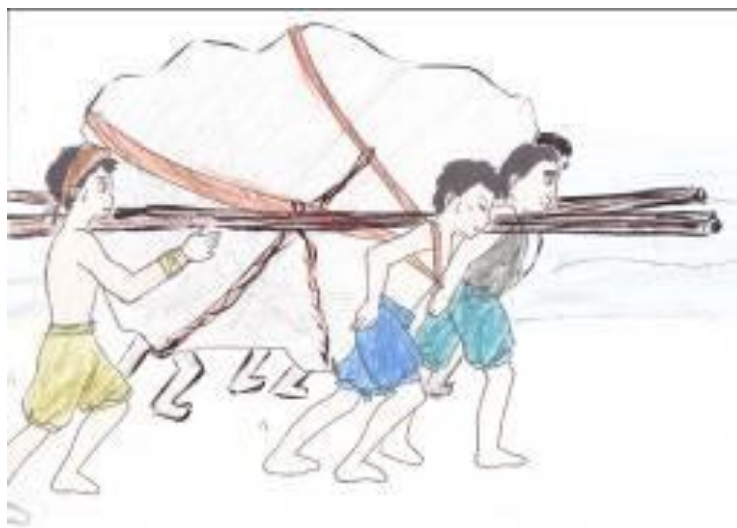
お母さんが子供たちを寝かしつけたところでした。みんなでお祈りを終わると、お母さんはバハオラの言葉を読み上げました。「世の改善は清らかで立派な行為と称賛に値する礼儀にかなった行動を通して達成できる。」末っ子のアニサがたずねました。「それって、どういう意味なの？ママ。」お母さんが、「いい質問ね、アニサ。他のみんなはわかる？」とたずねました。シャラが答えて言いました。「ええと、世の改善とは世の中を良くすることだと思う。でも、後のほうはわからないわ。」お母さんが、「そうよ、それでいいのよ、シャラ。その調子！それじゃアスマ、リヤズに聞くけど後のほうはどういう意味かわかる？」とたずねました。すると、リヤズが不服そうに言いました。「最初は簡単だからシャラは説明できたんだよ。でも後のほうは難しいよ。」そしてリヤズはアスマと目を合わせました。アスマはモナのほうを見ました。モナは肩をすくめて、わからないという顔をしました。お母さんはにっこりして説明しました。「後のほうは、清らかな気持ちで何でもすることと、みんなから褒められるような礼儀正しさですることなのよ。私たちはみんな、世の中を良くする英雄になる、すごい力があるとバハオラが言われているのよ。」リヤズが叫びました。「スーパーマンみたいに?！」アスマも大声で言いました。「スパイダーマン、バットマン、ドラゴンボールZみたいに？」アニサがベッドでびよんびよんとジャンプしながら言いました。「アンパンマンみたいに？」みんな笑ってしまいました。お母さんが、「そうなの、スーパーマンのような英雄たちはみんな、すごい力で人々を助けるでしょ。」と言いました。「よく考えてごらん。スパイダーマンのような英雄たちは、すごい力で、なぜ人々を助けようとしたの？自分のために人々を助けようとしたの？有名になって、お金持ちになろうとしていたと思う？」みんなは、「ちがうよ、ママ。」と一斉に答えました。「英雄はみんな、いい人たちだよ。」アスマが、「スーパーマンはいつも正義の味方だよ。」と言いました。「それからスパイダーマンとバットマンもなんだよ。みんな、悪者が人を苦しめるのを許さなかったよ。」シャラが「そうよ。みんな優しくて勇気があるのよ。」と続けました。お母さんが、「その通り。みんな世の中を良くしようとして、自分よりも他の人たちを思いやっていたでしょ。それで、清らかで立派な行為と称賛に値する礼儀にかなった行動という、すごい力を使って英雄になったのよ。」と言いました。現実的なモナが、「でも、ママ、そんな英雄になるなんて本当なの？」と口を挟みました。「だってスーパーマンもスパイダーマンもアンパンマンだって、みんな本当はいないでしょう？バハオラが彼らのことを紹介しているわけでもないし。そうでしょ？」お母さんが、「そうよ、モナ。」と言いま





した。「バハオラは世の中を良くしようとすれば、アスマだって英雄になると言われているのよ。」これを聞いてアスマはとてもしびつくりしました。「リヤズも、あなただけで、それからシャラや、私やお父さんそれにアニサも英雄になると言われているのよ。とにかくバハオラは、すべての人々が英雄になると言われているのよ。私たちみんなが、いつも人に親切で何か良いことをしたり、言ったり、思ったりすれば世の中を良くする英雄になるのよ。」シャラが質問しました。「思うって？思うだけで、どうやって世の中を良くできるの？」お母さんがにっこりしながら言いました。「アブドル・バハの言葉に『戦争の考えが起こった時は、それに勝る平和への思いで反対しなさい。憎しみの思いは、より強力な愛の思いで滅ぼさなければなりません。』とあるのよ。だから私たちには人を愛して戦争を止めて、平和にする愛という強い思いがあるのよ。私たちみんなが、自分を忘れて人々を愛するという力で世の中が良くなるなんて素晴らしいでしょう！私たちみんなが、この愛の力を強くする思いで英雄になるのよ。昔、日本で本当にあった話で、ごく普通の漁師だった人がこの愛の力で英雄になったお話があるのよ。」リヤズが驚いたように言いました。「漁師だって？」「それって、あんまりおもしろくなさそう。」お母さんが、「でもね、このお話にはお侍や刀も出てくるのよ。」と言うと、「じゃあ、聞く！」とみんながノリ気になってきました。お母さんがお話を始めました。

「昔々、九州の北の地方に二つの小さい漁村がありました。勝浦村という漁村には立派な長い砂浜があり、そのおかげで、その漁師は砂浜から漁船の出し入れが簡単に出来ました。しかし、となりの津屋崎村には短い砂浜しかなく、あとは岩だらけの浜しかありませんでした。その漁師は漁に出るのにいつも苦労していました。その村人は本当に生活に困っていました。そんなわけで二つの村は砂浜の境目のことでいつも争いが絶えませんでした。ある日、その地方を治めている、えらい侍がちょうどその辺りにやって来ることになりました。生活に困っていた津屋崎村の勇氣ある6人の漁師達はその侍に岩だらけの浜を何とかして欲しいと願い出ました。その当時は身分の低い者がえらい侍に願い出ると、それだけで死罪となりました。でもその侍は勇氣ある漁師達をすぐには死罪にしませんで



した。侍は願い出に耳を傾け、彼らの勇氣に感心しました。侍は岩だらけの浜の片隅にある一つの巨大な岩を指さしました。どうせできないと思いつつ、「その巨大な岩を動かせる場所までの砂浜を村に与えてやろう。」と侍は約束しました。津屋崎村の村人たちはそれを聞いて、その巨大な岩を掘り起こして岩を担ぎ出す丸太棒と綱を用意しました。その挑戦の日、その村がどれだけの砂浜を勝ち取るかを見ようと、二つの村人全員が集まってきました。侍は

なが かたな も ひかげ す わ この ようす みまも
長い刀を持って日陰に座ってこの様子を見守っていました。いよいよ勇気ある6人の漁師
達はそのきよだい いわ すなはま ひ きずり だ はじ じめました。津屋崎村の村人たちは一斉にかけ
ををかけておうえん をしました。一方の勝浦村の村人たちは叫びながら侍 に苦情を
い はじ じめました。勇気ある漁師たちはゆっくりと岩をかつ だ いきお すなはま
全部通り越してしまうようでした。勝浦村の村人たちがいら立っている中、侍 は岩のど
ろへあゆ み寄ってかたな を抜くや岩をつないでいる綱を切ってしまいました。これで勝浦村の



村人たちは騒ぐのを止めました。そして
津屋崎村は漁 がたっぷりできる長い砂浜を
手に入れてすく われました。でも悲しいかな、
願い出た勇気ある漁師達は、規則通りに死罪
になりました。しかし、その漁師達は村が
救われたのを聞いて喜んで死んで
行きました。

現在でもその村があった福岡県の津屋崎
海岸にある白浜という所を訪ねると、12
00キログラムもあるという、その巨大な岩



があります。」

ものがたり かた お
物語を語り終えて、お母さんは子供たちを見まわして言いました。「この物語をどう
思う？」男の子たちが、「面白かった！」と叫びました。「悲しいわ。」とモナがぼつりと言
いました。シャラも賛成して、うなずきました。お母さんが、「みんなにわかって欲しかった
のは、スーパーマンでなくても誰でも英雄になるということなの。」と言いました。する
とアニサが、忘れないでと言わんばかりに「アンパンマンでなくてもね。」と付け加えました。
お母さんが、にっこりしながら続けました。「みんなが知らない人でも、自分を忘れて清らか
な気持ちで、その人に礼儀正しく良いことをすることが一番大事なのよ。みんながこの世に
生きている限り世の中を良くする英雄になって
欲しいのよ。たとえお母さんがよその土地や次の
世に行ってしまうても、お母さんはいつもみんな
が英雄になるように祈っています。」それから
お母さんは子供たち一人一人におやすみのキスを
しました。



クイズ

1. どうやって私^{わたし}たちは世^よの中^{なか}を良く^よすることができるでしょうか？

2. 何^{なに}をすれば私^{わたし}たちは英雄^{えいゆう}になるでしょうか？

3. 勇気^{ゆうき}ある漁師^{りょうし}達の物^{もの}語^{がたり}はどこから来^きたでしょうか？

4. 勇気^{ゆうき}ある漁師^{りょうし}達は侍^{さむらい}に何^{なに}を願^{ねが}い出^でたのでしょうか？

5. 侍^{さむらい}は勇気^{ゆうき}ある漁師^{りょうし}達に何^{なに}をするように言^いったのでしょうか？

6. 勇気^{ゆうき}ある漁師^{りょうし}達の願^{ねが}いがかなって彼^{かれ}らは、どうな^なったのでしょうか？

7. 砂^{すな}浜^{はま}がな^なかった村^{むら}は砂^{すな}浜^{はま}を手^てに入^いれたでしょうか？

8. 子^こ供^{ども}たちはこの物^{もの}語^{がたり}をどう思^{おも}ったでしょうか？

9. 正^{ただ}しく優^{やさ}しい行^{こう}為^いをする時^{とき}、一^{いち}番^{ばん}大^{たい}切^{せつ}なこ^ことは何^{なん}でしょうか？

どうでしたか？全部^{ぜんぶ}答^{こた}えられましたか？

答^{こた}えは両^{りょう}親^{しん}のペー^ぺジ^じにの^のつて^ついま^ます。



掛け軸の作り方

材料

1. 白っぽい和紙またはそれに近い紙 20 cm X 50 cm 1枚
2. 濃い色の和紙またはそれに近い紙 20 cm x 8 cm 2枚
3. 丸棒 2本 (1本23 cm)
4. ティッシュ 2枚
5. 押し花
6. ひも 40 cm 1本 10 cm 2本
7. 次のページにある引用文「世の改善は。。。」
(を切り取る)
8. 木工ボンド (のり)
9. 太い絵筆 (のり付けのため)

作り方

1. 引用文 を切り取る。
2. 白っぽい和紙に引用文をのり付けする。
3. 引用文の下に押し花をのり付けする。
4. 3が乾いたところで、押し花の上に水を含ませたのりを絵筆で伸ばしながらティッシュを貼り付ける。
5. 濃い色の和紙2枚とも二つに折りたたんで、白っぽい和紙の上下を挟むようにして、のり付けする。
6. 折りたたんだ濃い色の和紙それぞれに丸棒を通す。
7. 下の丸棒の両端をそれぞれ10 cmのひもで結んで飾る。
8. 上の丸棒の両端を40 cmのひもで結んで壁に吊るす。

※ 引用文の意味が説明できるようにしておく。



世の改善は、清らかで

之旅を行ふと、称賛に値する

礼儀にかなつた行動を通して

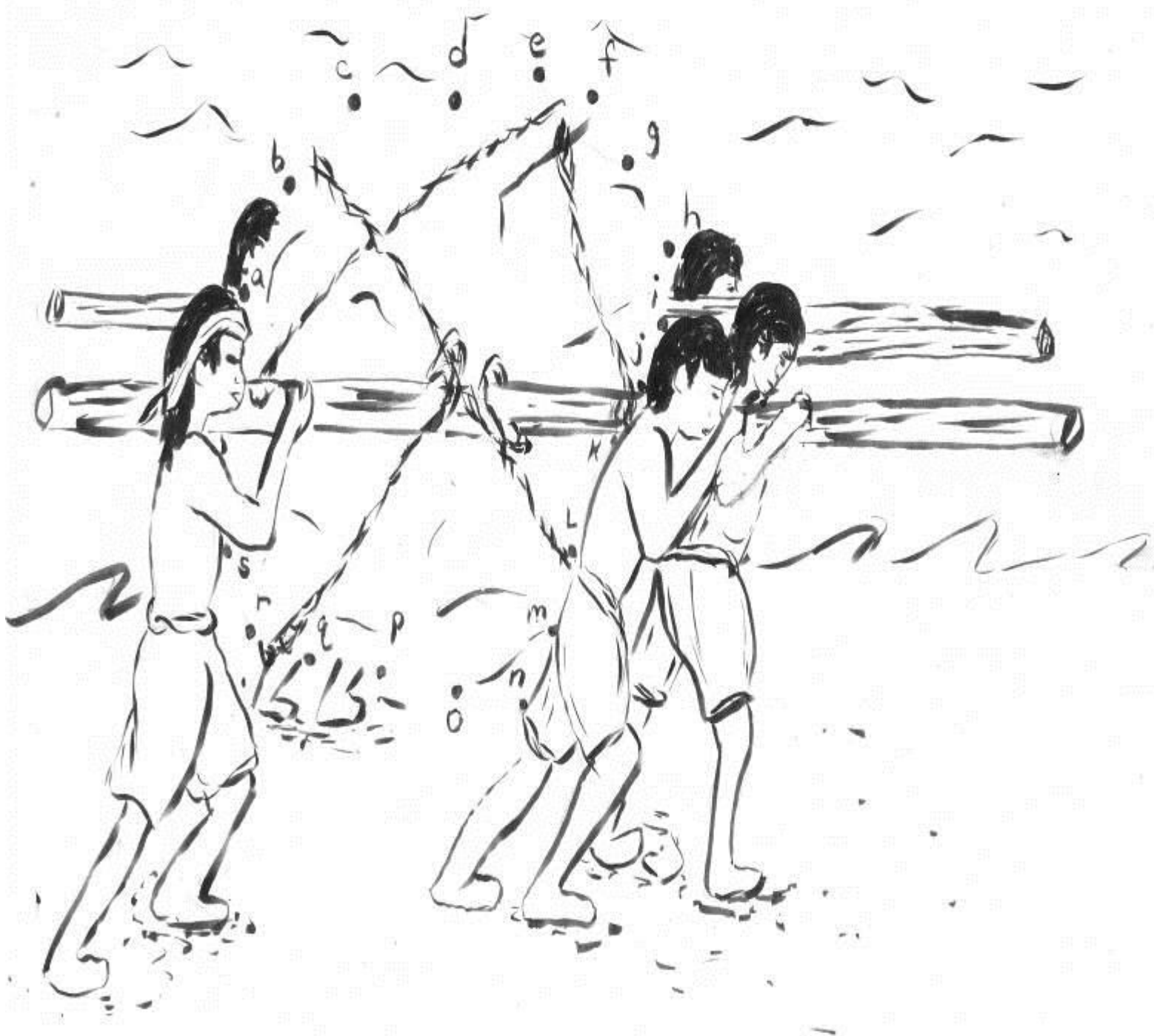
達成できる。

バハオラ

a から b へ....

b から c へ....

てん
点をつなげて何^{なに}が見^みえ^えま^ます^すか？



福岡子供クラス



山口



世界の子供クラス

シカゴ



グアム



両親のページ

「世の改善は清らかで立派な行為と称賛に値する礼儀にかなった行動を通して達成できる。」はルヒ・ブック 1 の最初に出てくるバハオラの言葉です。これはバハオラという言葉の中でも最も重要な言葉のひとつです。私たち大人はもちろんのこと子供たちにも是非憶えておいて欲しい言葉です。神様に従って行動すれば世の中を良くすることができるので子供に教えるのは、私たち大人の責任です。また『戦争の考えが起こった時は、それに勝る平和への思いで反対しなさい。憎しみの思いは、より強力な愛の思いで滅ぼしなさい。』とアブドル・バハの言葉にあるように自分を忘れて人々を愛する思いは、世の中を良くします。これは勇気と希望を与えてくれます。小児精神科医は子供が自信を持つことはとても大事だと言っています。子供が自分に世の中を良くする力があると知るの健全なことです。もう一つのアブドル・バハの言葉に「あなたの道で会う人みんなに温かい心と親切な愛で接しなさい。」というのがあります。子供の周りにいる家族や友人、隣人だけでなく人種や文化の違いに関係なく人に接するように、大人は子供を勇気づける責任があります。子供たちが、この価値を理解するならば、彼ら自身だけでなく彼らを取り巻く世の中も健全で幸福に育っていきます。



クイズの答え

- 1) 礼儀正しい行動をする。2) 自分を忘れて他の人を手伝う。3) 福岡県の津屋崎海岸にある白浜。4) 砂浜が欲しい。
- 5) 巨大な岩を砂浜に運ぶ。6) 彼らは死罪になった。7) はい、漁がしやすい充分長い砂浜手に入れました。
- 8) 男の子たちは好きでしたが、女の子たちは悲しかったです。9) 清らかな心で礼儀正しくすることです。



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。
vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp に送ってください。

ひるの星

№. 240

2009年12月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://www.bahaijpn.com/daystar.htm>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、マクティア・理恵

協力

物語：平原ルアナ、マクティア・トラヴィス

和訳：平原静志、平原朝真、鳥部まゆみ

工作：平原静志、平原ルアナ

写真：小島えり子、ヒギンズ・マリリン、原なお、ミルホフ・ブライアン
花岡しょう子、マクティア・理恵、レザ・ホマヨン

表紙：ダリル・マード

絵：ラリー・カーティス、子供クラス、平原ルアナ、
ダリル・マード、サナ・マジズーブ

テクニカル・アドバイザー：尊田望、平原朝真

監修：平野祐一